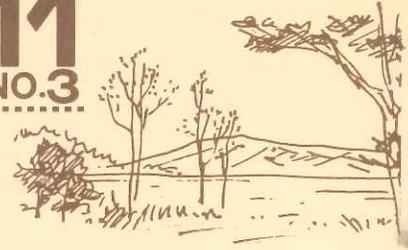


シルバーだより

1982
11
NO.3

◆発行 社団法人 シルバー人材センター
所沢市高齢者事業団

所沢市西新井町20-1 ☎0429(95)0095



57年度の前半を終わって



やがて昭和57年も終わって新しい年を迎えようとしています。過去3年間の実績のもとに、4月1日シルバー人材センターとして決意も新たに第一歩を踏み出した当事業団も、年度の3分の2を終ろうとしています。

社団法人として法的にも、社会的にも所沢の地にしっかりと根をおろし、役員はもとより、会員全員が法人構成の一員であるという認識を深めながら「働くことをとお

して生きがいを高めるとともに、活力ある地域社会づくりに寄与する」という大きな目標に向かって歩んできた7月でした。

この間地域の方々のご理解とご協力、そして会員の努力によって、事業は順調に進展してまいりました。「植木の手入れ」は常に受注件数のトップを行き、6人の会員がフル回転の毎日ですが、11月中旬には年内の施行をお断りしなければならないというように、お客様に大変ご迷惑をおかけしている状況です。「ふすま張り」「塗装作業」「大工仕事」は各2名づつの会員が順調に仕事を捌き、6月から新しく畳の経験者1人が加わって、畳の表替えや裏返しの活躍が始まり、多くの方々から大いに重宝がられ孤軍奮闘というところですよ。

また、昨秋から開設した「おさらい教室」「書道教室」は70名の受講生が毎日熱心に励んで、お母さん方から大変喜んでいただいていますし、講師の先生方10名も暑さ寒さにもめげず、昔とった杵柄を充分に発揮して、ますます生きがいを高めながら頑張っています。

さらに、今年度始めて参加した市民フェスティバルには、書道教室の先生や生徒の作品をはじめ、会員の方から絵画、書、盆栽、民芸品など傑作が出品され、多くの市民に見ていただいて大好評でした。



しかし、事業が順調に進んでいるとはいえないものの、問題がないわけではありません。就労実人員が月平均143人で、会員総数の35パーセントに過ぎないのは、数字のうえでまだ半数以上の会員が仕事を待っているという計算になり、会員の希望にかなう仕事をまだまだ開拓する必要があります。少なくとも当面50パーセントの就労率を確保するという、課題の解決が急務といえます。

知事に要望書提出

高齢者事業団は就業(労働)と生きがい(福祉)との調和によって、活力ある地域社会づくりに寄与するという、全く新しい理念に基づいた事業として、国内ばかりでなく世界的にも注目されている事業のため、関連する現行法規との関係、運営資金等業務運営上の問題点や課題が山積しているのが現状であります。

このような問題点などが早期に解決され、一人でも多くの会員が働く機会を得て、生きがいが高められるよう、県内25の事業団関係者は念じているわけですが、それのためには組織、財政等の面で県御当局に一層の御支援をいただかなければなりません。

そこで次のような要望事項を県内全事業団理事長名で10月20日付主管課を通じて畑知事あてに要望書を提出しました。

1. シルバー人材センター・高齢者事業団共通事項

- (1) 県レベルでの統括的、指導組織(例えば「埼玉県高齢者事業振興財団」のような組織)を設置していただきたい。
- (2) 現在国の補助対象となっているシルバー人材センターは労働部、国の補助対象となっていない高齢者事業団は生活福祉部というように、担当主管部が異なりますが、窓口を一本化(例えば「高齢者対策室」の設置)していただきたい。
- (3) 広く一般県民への啓発とPR活動の強化によって、会員の加入率を高めるとともに、発注される仕事の増加を図っていただきたい。
- (4) 従事する事業団職員の研修を実施して、業務運営の円滑化と質的向上を図っていただきたい。

2. シルバー人材センター

現行の補助金交付要項では、国の補助対象団体となりますと、県費補助が打切られることになっておりますが、高齢者事業団と同様に、また他県でみられるように、ぜひ継続補助対象としていただきたい。

3. 高齢者事業団

- (1) 現在補助されている補助金額の増額及び補助期間を昭和60年以降も継続していただきたい。
- (2) 現在補助対象から除かれている、60才以上の人口3,000人未満の町に設置される事業団も補助対象としていただきたい。



【事務局から】 12月分の配分金支払い

12月中に就労された方の配分金の支払いは、平常の月と同じように翌月10日（1月10日）支払いとなりますが、年末のことでもあり、都合でどうしても年内に前払いを希望される方は、12月20日までに事務局にご相談下さい。

市から仕事を！ — 一部課長さんを対象に説明会 —

駅前自転車置場の整理や市営運動場の管理など、現在所沢市から多くの仕事をいただいておりますが、事業団が毎月受託する仕事全体からみますと約10パーセントに過ぎません。

そこで、事業団の理念なり事業内容を一層ご理解願ひ、高齢者に向く仕事を発注していただくため、11月15日説明会と意見の交換を行いました。

当日は58年度予算編成の直前ということもあってか、市側から総務部長さんを始め、関係部課長20名のご出席をいただき、事業団からは増村理事長と粕谷専務が出席しました。事業内容の説明のあと、2時間にわたって有意義な意見が交わされました。

景気の低迷が続いて、企業からの受注が減少傾向をたどっている時だけに、今後市からの発注が大いに期待されます。

月間受注件数新記録

10月の受注件数は257件と開設以来の実績となりました。その要因は当事業団のメインで、常に受注件数の上位を占めている「庭木の手入れ」作業が秋になって倍増したためです。植木作業に就いている6名の会員は秋の雨天続きもからんでフル回転の毎日ですが、嬉しい悲鳴というところです。

また、毎年落ち込む8月の契約額は、過去にみられたような大きな変動がみられず、年度末には年間契約額の新記録が期待できそうです。

業務実績 (57.7～57.10)

月別	項目 仕事受託件数	就 労		契 約			額
		実人員	延人員	配 分 金	事 務 費	材 料 費	
7	206	146	2,627	9,024,198	406,351	227,420	9,657,969
8	178	139	2,375	7,753,565	334,621	126,500	8,214,694
9	203	157	2,440	8,185,121	535,778	324,750	9,045,649
10	257	136	2,468	8,416,236	372,497	659,150	9,447,883
4ヶ月 合 計	844	578	9,910	33,379,120	1,649,255	1,337,820	36,366,195



ふすま張り研修会に参加して

新所沢地区 永島 洋三郎

10月27日から3日間事業団作業所で「ふすま張り研修会」が実施されました。昨年は塗装の講習会に出席させて頂き、お蔭で、自宅の壁塗装、庭の門、アルバイト先の物置台等、我ながら仲々の出来ばえで、やはり習うのと習わないのとの差が歴然と出て来ていると思います。

さて、今回の成果は如何がと言いますと、未だ実際にふすま張りをやっておりますので何とも言えませんが、先日アルバイト先で封筒張りを行った際、のりの着け方で早速応用出来ました。

研修会に出席して素直な気持で習う、この事がまことにありがたく、3日間一生懸命やりました。仲々プロのようになるのは難しいと思いますが、少しでも人の為になればと思って研鑽を続けて行き度いと思います。

講師の熱心な御指導に対し、心よりお礼を申し上げます。



九 洲 路 村 田 福 治 (地中海同人)

菅公も旅人も左遷されしとか 都府楼跡を見せてバス過ぐ

異なる意見はあらず好きなだけ 阿蘇に佇ずむ一人旅なる

写真のごとき高千穂峡をうつつにし 岩のあいだに舟を漕ぐかな



◆ 編集後記

昨年の今ごろはシルバー人材センター移行のため、県主管課との打合せや役員会の開催など、法人化の準備作業に追われる毎日でした。

シルバーになったからといって業務内容に大きな変化はありませんが、大きく成長していく基礎が法人化にあるような気がいたします。私たちの事業団、地域の事業団として大きく育みましょう。